平成24年度第66回関東高等学校 女子バスケットボール選手権

平成24年6月9日(土) さいたま市記念総合体育館 Bブロック第2回戦

正智深谷

70

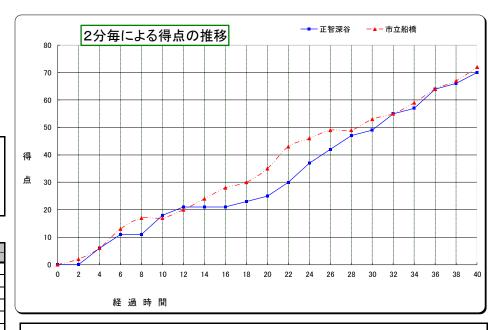
18 1st 17 7 2nd 18 24 3rd 18 21 4th 19

72

市立船橋

番	ss	得	3P		2P		FT			リバウンド		"	->	ブロック	h
号	氏 名	点	成功	試行	成功	試行	成功	試行	反 則	OF	DF	スチール	アシスト	ショット	ターンオーバー
4	新井 梓	15	2	7	4	11	1	2	0	1	4	0	0	0	1
5	萩原 里佳	0													
6	関根 華恵	28	0	0	12	16	4	6	2	3	11	1	1	1	5
7	大竹 彩香	2	0	1	1	3	0	0	1	0	2	1	0	0	0
8	木村 美有紀	0	0	8	0	0	0	0	2	1	6	0	0	0	0
9	武田 歩実	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
10	木内 未涼	0													
11	金子 恵	2	0	0	0	4	2	2	2	1	0	0	1	0	1
12	宮倉 優香	0													
13	竹本 理紗	0													
14	神田 晴菜	0													
15	山本 友李	0													
16	福島 奈桜	0													
17	岩田 珠莉	12	2	8	2	3	2	2	1	0	2	0	2	0	2
18	掘込 歩	11	0	1	4	10	3	4	2	0	1	0	2	1	1
コーチ	飯 野 英 利									1	11				1
		70	4	26	23	47	12	16	11	7	37	2	6	2	12
		確率 15.4% 48.9%		.9%	75	.0%		計	44			=	s		

番	氏 名	得	3P		2P		FT			リバウンド				ブロック	
号		点	成功	試行	成功	試行	成功	試行	反 則	OF	DF	スチール	アシスト	ショット	ターンオーバー
4	倉脇 梢	19	5	14	2	6	0	0	2	1	6	2	4	0	1
5	小亦 晶来	2	0	0	0	2	2	2	4	0	3	1	2	0	0
6	松崎 亜美	4	0	0	2	4	0	0	0	1	0	1	2	0	1
7	岡田 彩	4	0	0	2	6	0	0	0	8	4	1	1	0	5
8	高旨 里奈	8	0	1	4	11	0	0	2	7	1	1	0	0	0
9	小島 弥弓	0													
10	中村 奈津子	0													
11	水島 晴香	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0
12	小林 絵梨子	0													
13	森 海生香	0													
14	佐久間 優芽	0													
15	竹田 香歩	18	0	0	7	17	4	5	2	5	10	1	1	1	3
16	小野 栞	17	3	9	3	14	2	3	1	0	4	0	1	0	1
17	齋藤 ちはる	0													
18	山田 菜摘	0													
コーチ	高 松 淳 史									1	5				0
		72	8	24	20	61	8	10	13	24	34	7	11	1	11
		確率	33	.3%	32.8%		80.0%			計	58				



戦評

第1P、両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタートする。序盤は両チーム固さが目立ちシュートが決まらない。市立船橋はパッシングから#15竹田、#4倉脇のミドルシュートで得点する。対する正智深谷は#6関根の身体能力を活かした1対1で得点する。開始5分、市立船橋はディフェンスをハーフコートゾーンプレスから2-3ゾーンに変え、正智深谷の得点を止めリードする。しかし正智深谷も#18堀込のミドルシュート、#7大竹のレイアップシュートで逆転し、第1Pを終了する。

第2P、市立船橋はディフェンスをマンツーマンに戻しプレッシャーをかける。正智深谷は攻め手を失い得点できずに苦しむ。その間に市立船橋は#15竹田、#6松崎の速攻が連続して決まり、流れを引き寄せる。残り5分、正智深谷はたまらずタイムアウトをとる。7分間で3点しか得点できなかった正智深谷だが、#4新井のミドルシュートで何とかつなぐ。しかし#6関根をファールトラブルで欠いた時間が影響し、10点ビハインドで前半を終了する。

第3P、開始から両チーム共にオフェンスのテンポを上げ、アウトサイドシュートを中心に得点をする。正智深谷は#6関根のミドルシュート、#17岩田の3Pシュートでリズムを掴む。対する市立船橋も#16小野の3Pシュート#15竹田のミドルシュートで得点し一歩も引かない。しかし市立船橋のシュートが決まらななると正智深谷が徐々に点差を詰め、残り2分#4新井のドライブインシュートで同点とする。このまま正智深谷が逆転すると思いきや、市立船橋#15竹田がミドルシュートを連続で決め4点リードをして勝負の行方は第4Pへ。

第4P、正智深谷は#6関根のインサイドプレイ、市立船橋は#15竹田、#16小野のアウトサイドシュートを中心に得点をし、一進一退の攻防が続く。中盤に正智深谷#4新井が負傷退場し嫌なムードが漂うが、残り4分#6関根のドライブインシュートで同点とし、試合の行方はわからない。残り22秒、市立船橋2点リード。正智深谷はマイボールでタイムアウトを取り逆転の望みをかける。しかし惜しくも得点できずに試合終了となる。接戦を制した市立船橋が準決勝進出を決めた。

|主 審| 清水 幹治

副 審 中嶋 清貴

記入者 祐木 毅